

「すべてがミッションのため」

あなたの人生に目的があると同時に、会社、組織にも目的があり、存在意義がある。そして、会社の中で行われる行動のすべてが、そのミッション・目的・存在意義の実現に貢献するものでなければならない。

一貫性の本当の意味はここにある。

人生において、ほとんどの人が成功しないのは、自分のミッションと関係ない行動に時間と活力を浪費してしまうからである。

そして、ほとんどの組織も成功しない理由は、そのミッションと関係ない作業に時間と予算を浪費してしまうからなのだろう。

「ミッションとつながっていない行動はすべて無意味である！」

将軍が聞いた一つの質問

第1次湾岸戦争の総司令官ノーマン・シュワルツコフ将軍は、大統領からその戦争を率いる為の依頼を受けた時、条件を付けた。それは、ミッションがはっきりしないことによる悲惨な結果を目の当たりにした自らの経験からくる条件であった。

すると大統領は、「イラク軍をクエートから撤退させること」だと答えた。

それ以降、これはミッション・ステートメントになった。

そして、将軍は、これによって戦争を管理した。

スタッフの隊員が将軍の事務所に走って来て、言う。

「アラブの兵士と欧州の兵士の間に文化の衝突が起きています。大問題です。どうすればいいのですか？」

すると、将軍は答える。

「それは、イラク軍をクエートから撤退させることとどういう関係がありますか？」

「直接関係ないけど、大きな問題ですし、対応しなければなりません」

「対応しなくて良い。自分のポストに戻り、イラク軍をクエートから撤退させる仕事をしなさい」

戦争は6週間で終り、兵士全員が帰国した。

それ以降のイラク戦争やアフガニスタンの戦争は、ミッションは不明確なので、いつまで経っても、終わりそうにないのである。

組織はミッションによって管理される。

ミッションは社長より偉い

ミッションを明確にし、全員がそれに対して決意しなければならない。
それに対して決意できないメンバーを排除しなければならない。
それに対して決意できない仕入先を取り替えなければならない。
これはまさに憲法であり、社長といえども、これより偉いということにはならない。
すべてを司る羅針盤なのだ！

全員で作るから力がある。

どのようにして、そのミッションを明確にしていけばいいのだろうか？
このミッションは、ビジョンと原則という二つの側面がある。
スティーブ・ジョブズのように、先見の明があり、大きなビジョンを示し、みんながそれに対して決意できるリーダーがいる場合、ビジョンは上から来ることもある。
しかし、そうでない場合、全員で話し合い、みんなの中から共有できるビジョンを引き出す必要がある。
そして、原則や価値観については、最初から組織全員の中からもなければならぬ。

ミッション・ステートメントは全員の参加で作るものなのだ！

つまり、この組織にとってどういう原則が大切で、どのような行動規範に沿って毎日を送っていくべきかについては、みんなの話し合いで決めない限り、誰もそれに対して決意しないだろう。
そして、一旦このミッション・ステートメントが出来上がれば、それは憲法にしなければならない。
トップ経営陣もこれによって支配されなければならない。

憲法は王様の上なのだ。

<経営のヒント>

会社で一番、偉い人は誰か？

・・・社長と答える。

でも、私の知っているある企業の社員さんたちは、誰もが「経営理念」と答える。
これは、経営トップが常に、社員に対して言い続け、実践行動していることです。
例えば、社員さんたちと懇親会や食事に行く時でも、まず一番先にすることは・・・
「いつもご馳走になり、〇〇に感謝します。有難うございます。お客様、有難うございます」
と会社とお客様に対して感謝とお礼の言葉を言い、働いている仲間感謝することです。

社長は企業の中で、一番偉い訳ではありません。

一番偉いのは、経営理念です。

社長自らが、経営理念を一番守る僕(しもべ)でなくてはなりません。

駄目な会社はトップを見れば、すぐに解ります！

どうしてか？それは社長が一番、偉いと思っており、そう態度と行動に表れています。

だから、お客様の方を向かずに、トップを見ている「ヒラメ社員」が出来るのです。

あなたはどうですか？

あなたの企業ではどうですか？

社員さんに聞いてみて下さい、「会社の中で、誰が一番偉いと思いますか？」